

平成29年度 予算特集号

広報
Ako City
Public
Relations



2017
Special Number
平成29年4月10日発行



「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」を目指して

- 平成29年度当初予算総額 531億2,796万円 P 2～3
- 平成29年度一般会計当初予算総額 220億6,700万円 P 4～5
市民ひとりあたりの予算額
- 5本の柱ごとの主要施策 P 6～15
- 写真でみる予算 P 16

平成29年度当初予算額 531億2,796万円

●各会計別予算額

会計区分	平成29年度当初予算額	平成28年度当初予算額	前年度比(%)	
一般会計	220億6,700万円	227億9,500万円	△3.2	
特別会計	国民健康保険事業	64億8,900万円	65億8,800万円	△1.5
	職員退職手当管理	5億140万円	6億4,390万円	△22.1
	公共下水道事業	38億1,870万円	36億3,180万円	5.1
	農業集落排水事業	2億9,290万円	2億9,670万円	△1.3
	墓地公園整備事業	1,080万円	1,200万円	△10.0
企業会計	介護保険	44億7,260万円	41億5,500万円	7.6
	駐車場事業	1億3,840万円	1億2,340万円	12.2
	後期高齢者医療保険	7億70万円	6億8,740万円	1.9
	小計	164億2,450万円	161億3,820万円	1.8
企業会計	病院事業	123億3,732万円	153億8,242万円	△19.8
	介護老人保健施設事業	3億7,317万円	3億9,851万円	△6.4
	水道事業	19億2,597万円	21億1,654万円	△9.0
小計	146億3,646万円	178億9,747万円	△18.2	
合計	531億2,796万円	568億3,067万円	△6.5	

「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」を目指して

私が市長に就任してから2年余りが経過し、4年という市長任期の折り返し点を過ぎました。この間、議員各位をはじめ多くの市民の皆さま方のご指導をいただきながら、先人たちが築きあげてきたこの赤穂を、さらに元気で魅力的なまちとして未来へつなげるため、全力を傾注してきました。

特に、市政運営にあたっては、「少子高齢化・人口減少社会に対応するまちづくり」「にぎわいと活力のあるまちづくり」「安全・安心に生活できるまちづくり」を基



若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえます

進行する少子化に歯止めをかけるためには、安心して子どもを産み育てる環境を整備し、結婚・出産・子育てについて切れ目のない支援を行うことが必要です。そこで、幼稚園、保育所保育料の10%軽減を維持した上で、第2子からの保育料軽減事業を実施するとともに、第3子いきいき子育て

平成29年第1回赤穂市議会定例会において、新年度予算案が成立しました。17日、市長が市政方針を明らかにし、主要な施策についてお知らせいたします。

本に、時代の変化に即応し、スピード感をもった行政を推進するとともに、市民の皆さまとの対話を通じて開かれた市政を積極的に推進するため、各地区においてまちづくり市長懇談会を開催するなど、市民本位の市政を推進しているところです。

さて、厚生労働省が実施する人口動態統計の年間推計において、平成28年のわが国の出生数が過去最少の98万1千人となり、初めて100万人を割り込みました。政府は、急速な少子化の進行を少しでも遅らせるため、種々の対策を進めていますが、即効性は見込めず人口減少に歯止めがかからない状況であり、人口が増え続けた時代からの発想の転換が、これからのまちづくりに求められているところです。

て応援事業や赤穂すこやかセンターでの乳幼児一時預かり事業を継続実施します。また、公立幼稚園での3歳児保育の実施に向け、保育内容の調査研究に加え、必要な施設の検討に着手するなど、子ども・子育て支援の更なる充実に努めます。

さらに、小・中学校での情報教育の推進をはじめ、海洋科学館に新たに赤穂コールドロン模型を設置し、地域資源の情報発信とともに

本市においても、少子高齢化が進行し人口が減少する中でも、活力を保ち、将来への希望が持てる地域づくりを推し進めていくためには、ふるさと赤穂への思いを胸に、新たな発想で、知恵と力を集め、着実に、多くの課題に取り組みなければなりません。そのため、今後の市政運営にあたっては、「信念と情熱」「誠実と信頼」「創造と改革」を信条に、市民の皆さまとの対話と交流による市民本位の市政を推進しながら、総合計画の都市像である「人が輝き自然と歴史・文化が薫るやさしいまち」の実現に向けて、「赤穂市総合戦略」に掲げる、次の4つの基本目標に基づき、未来への投資が着実に根付くよう、施策の展開を図ってまいります。

に、教育環境の充実を図ります。

安心なくらしを守り、地域と地域を連携します

地域のにぎわいを創出し、安心なくらしを守っていくためには、広域による連携を充実するとともに、市内の地域間でお互いに連携することができるとともに、地域連携を推進するなど、地域連携によるまちづくりに取り組んでいくことが必要です。

このため、東備西播定住自立圏共生ビジョンや播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンに基づいて、定住相談会や郷土資料アーカイブス、高校野球親善試合などの事業により、広域連携を推進します。

さらに、市内循環バス「ゆらのすけ」や有年地区におけるデマンドタクシー「うねのり愛号」の運行により、地域間における交通手段の確保に努めます。また、赤穂市地域防災計画に基づき、防災備蓄倉庫及び防災備蓄物資の整備、耐震性防火水槽の設置など、

安定した雇用を創出します

若年層を中心とした転出者を減少させ、定住人口の増加を目指すためには、市内での就業機会を拡大し、安定した雇用を確保することが必要です。

そこで、子育て支援に関する情報提供の充実を図り、女性の再就職を促進するほか、新規青年就農者について経営の安定化を図るための新規就農総合支援事業や、地場農林水産物の販売・加工の拠点整備を支援する農林水産物直売所設置支援事業などにより、幅広いニーズに対応した就労支援に取り組めます。

さらに、赤穂産品の高付加価値化を目指した赤穂ブランド推進事業に加え、塩の国で生産される枝条架塩などを使った新製品を開発する「しお」ブランド推進事業や、赤穂緞通に関する情報発信を行う地場産業育成事業により、地域産業の競争力強化に取り組めます。

新しいひとの流れをつくります

人口の減少を緩和し、地域の活力を維持していくためには、本市へ移住・定住を希望する方々への支援体制の整備による定住人口の増加と、観光振興などによる交流人口の増加を図ることが必要です。

そこで、お試し暮らし住宅事業や移住体験バスツアーなど、赤穂を体験していただける定住支援推進事業を引き続き実施し、移住・定住促進対策を進めます。

また、ふるさとづくり寄付金推進事業により、地場産品を通じて赤穂の魅力を全国に発信するとともに、昨年明らかとなった赤穂コールドロンを地域資源として情報発信するほか、あこう元禄「しお」回廊による観光ルートの活用や観光アークシヨンプログラム推進事業の実施により、本市の観光資源の有効活用とPRを推進します。

ところです。

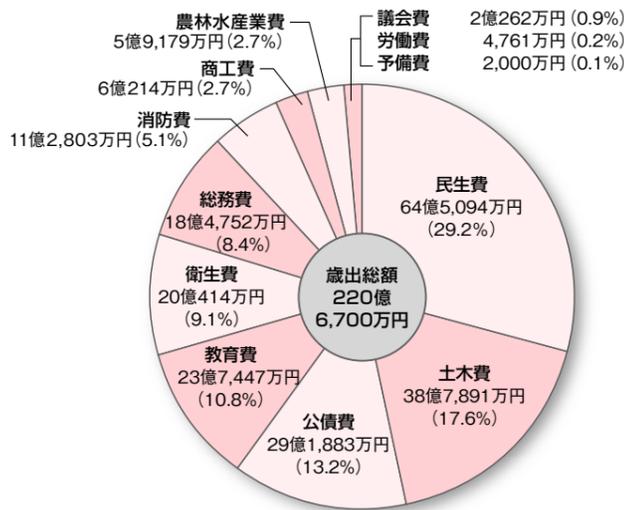
こうした情勢の下、本市の財政状況については、歳出において大型事業の完了に伴い投資的経費が減少するものの、社会保障関係経費は増加傾向にあります。歳入においては、地方交付税や臨時財政対策債などが増収する一方、地方消費税交付金の大幅な減収により一般財源収入の減少が見込まれることから、基金を取り崩さざるを得ない厳しい財政環境に置かれているところです。

このため、市有地の売却等をはじめ積極的な歳入の確保を図るほか、引き続き行財政改革を推進し、施策・事業の優先順位に基づく選択と集中を行う中で、限られた財源の重点的かつ効率的な配分を行い、財政の健全性の確保に努めたいと考えています。

次に、赤穂市総合計画の5つの柱に沿って、その概要を説明します。

歳出 >>>

歳入面では、地方創生への取り組みを総合的に推進するため、赤穂市総合戦略に掲げる各種施策・事業などに重点的に取り組み、未来への投資が着実に根付くよう限られた財源の重点的・効率的な配分により、後年度を見据えた財政健全性の確保に努めるとともに、総合計画に掲げる『人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち』の実現に向けて、地域活力の回復を図り、誰もが希望と誇りを持って住み続けたいと思えるまちづくりを推し進めるための予算編成としました。

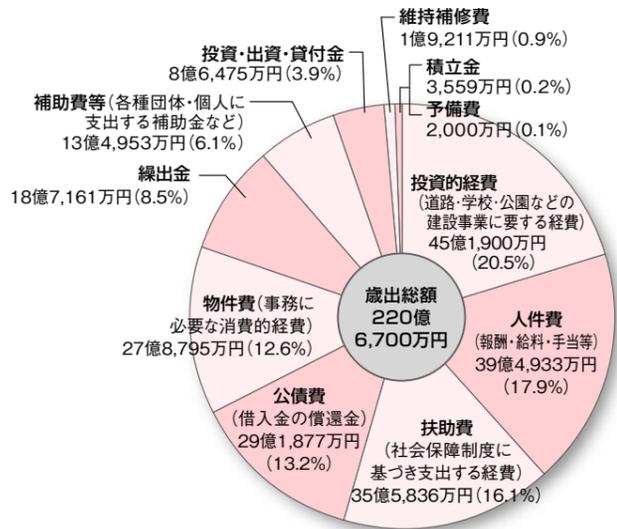


目的別内訳

各行政目的別、つまり各部課ごとの仕事の内容によって分類され、これにより各部課ごとの経費の比重を知ることができます。

性質別内訳

経済的性質を基準として分類され、これにより経費の構造や財政体質を知ることができます。



歳入 >>>

歳入面では、地方交付税や臨時財政対策債の増収が見込まれるものの、市税の伸びは横ばいで、地方消費税交付金の大幅な減収により、地方創生への取り組みや社会保障関係経費の増加等に見合う一般財源の伸びが見込めないため、引き続き厳しい財政状況であり、財政調整基金や健康管理施設整備基金などの基金から7億3,300万円を繰り入れることにより財源を確保しました。

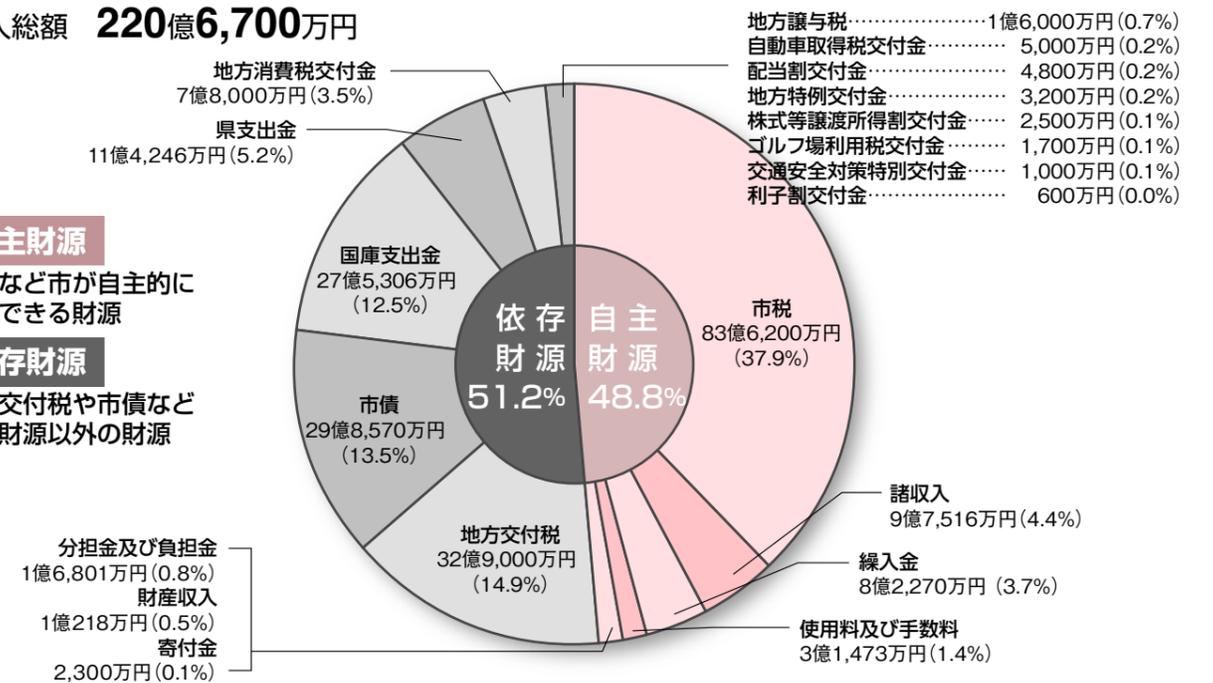
歳入総額 **220億6,700万円**

自主財源

市税など市が自主的に収入できる財源

依存財源

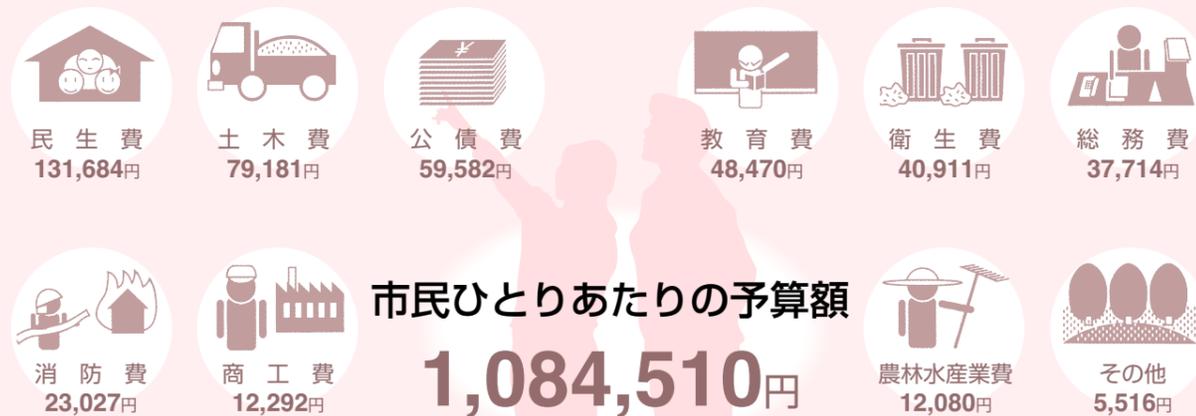
地方交付税や市債など自主財源以外の財源



220億6,700万円

平成29年度 一般会計予算

一般会計 **450,457円**

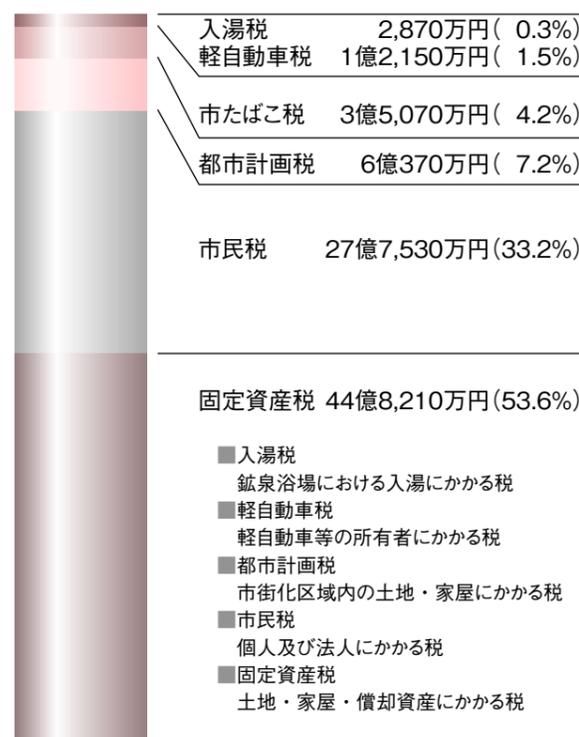


特別会計・企業会計(抜粋) **634,053円**

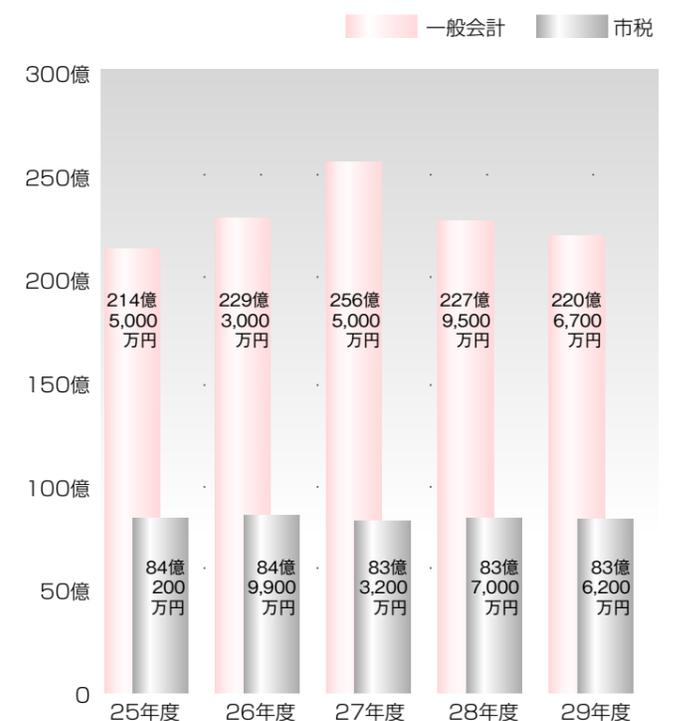


(平成29年2月末現在の人口48,988人で計算したものです)

市税の内訳 総額83億6,200万円



年度別当初予算額と市税の推移



題を解消するための教育・啓発活動の指針とするため、赤穂市人権教育・啓発基本計画を策定し、市民一人ひとりが、すべての人の人権を尊重することのできる社会の構築に努めます。

保健・医療サービスの充実

健康づくりの推進体制については、関係機関の協力を得て「赤穂市健康増進計画」を見直し、今後の地域保健の方向性を定めるとともに、健康への意識啓発を図り、生涯にわたる健康づくりを推進します。

このため、生活習慣病予防を目的とする特定健康診査や、胃がんをはじめ各種のがん検診を行うほか、必要な方には積極的支援・動機づけ支援などの保健指導を継続して実施します。

女性のがん検診については、特定年齢層への無料クーポン券の配布に加え、未利用者への受診勧奨を行うなど、引き続き受診率の向上に努めます。また、育児健康支援事業として、医師による「こども発達相談」



5本の柱ごとの主要施策

「人が輝き 自然と歴史・文化が薫るやさしいまち」を実現するための市政の5つの柱、「安全・安心に生活できるまち」「自然と共生する住みよいまち」「産業と交流が盛んな活力あるまち」「生涯にわたり夢を育むまち」「市民と行政がともに歩むまち」に沿って順次ご紹介します。

第1の柱

安全・安心に生活できるまちづくり

おもいやりに満ちた福祉社会の構築

少子高齢化が急速に進展する中、市民が安心して暮らせるユニバーサル社会の実現に向け、すべての人にやさしいまちづくりを進めることが求められています。

そのため赤穂市地域福祉計画に基づき、地域で相互に助け合う地域福祉活動を推進します。また、災害時に備えて避難行動要支援者システムを構築するほか、施設整備として、引き続き市道の段差解消や赤穂城跡公園内の園路改修などを実施します。

児童福祉については、赤穂市子ども・子育て支援事業計画に基づき、次代を担う子どもたちが健やかに育つよう、環境づくりを推進していく必要があります。

そこで、子育て世代が育

児に関する情報を容易に入手できるように子育て支援情報システムの充実を図るとともに、安心して子育てができるよう「赤穂西アフタースクール」の新設をはじめ、既設アフタースクールの開設時間延長を検討するほか、延長保育や一時預かり事業などを引き続き実施します。

また、子育てにかかる経済的負担を軽減するため、第3子いきいき子育て応援事業やチャイルドシート及び幼児2人同乗用自転車の購入費助成を継続実施するほか、保育所や幼稚園等の保育料については国の基準より低い金額を維持するとともに、第2子からの保育料を軽減します。

母子家庭等への支援策としては、高等職業訓練促進給付や高等学校卒業程度認定試験の合格支援を実施するなど、引き続き就業支援を行います。

障がい者福祉については、障がいのある人を取り巻く環境を的確に把握し施策に反映させるため、「赤穂市障



がい者福祉長期計画」を見直すとともに、引き続き介護給付や訓練等給付などの障がい福祉サービスの提供を行います。また、地域生活支援事業として意思疎通支援、理解促進のための研修・啓発、相談支援や地域活動支援センターへの事業補助などを継続実施するほか、新たに総合的・専門的な相談窓口となる基幹相談支援センターを設置し、障がいのある方の自立支援を図ります。

引き続き実施します。

国民健康保険制度については、急速な高齢化の進展、疾病構造の変化や医療技術の高度化等により、医療費が高い水準で推移する中、特定健康診査事業等の実施による生活習慣病の予防対策を行うなど、被保険者の健康増進に努めます。

介護保険制度については、本年度は第6期介護保険事業計画の最終年度を迎え、介護サービス給付等の実態に対応したものとしていきます。

後期高齢者医療制度については、兵庫県後期高齢者医療広域連合と連携し、保険料の徴収、各種申請の受付等、市民の皆さまの窓口としての役割を果たしていきます。

生活困窮者対策としては、新たに生活困窮者食料等支援事業を実施し、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった世帯に食料を提供する事業に対して助成を行います。

人権文化の創造については、あらゆる差別や人権問

を新たに実施するほか、市民健康づくり推進事業として、新たに「健康にこころ講座」など、高齢者をはじめ成人や母子も対象とした健康講座等を開催します。

病院事業については、昨年12月に地域包括ケア病棟を開設したところであり、今後ますます高齢化が進む中、急性期病棟から在宅や施設への復帰に向けた支援を行うほか、分野を問わず医療・健康問題に心と身体の両面から診療を行う家庭医による総合診療科を設置します。

また、「第二期基本構想」

では、介護支援システムを活用したケアの充実により、在宅復帰を支援する施設としての役割が果たせるよう努めます。

生活の安全・安心の確保

台風・地震などの自然災害や大規模火災をはじめ、高齢者のための交通安全対策や子どもの安全確保、複雑化する消費者問題など、日常生活における安全・安心に対する市民の関心は一段と高まっています。

そのため、更なる防災行動力の向上を目指し、地域の皆さまを中心とした自主防災組織による防災総合訓練やコミュニケーション防災訓練を継続実施するほか、大規模災害時にも行政機能を維持し、一定の業務を的確に行えるよう、「業務継続計画」を策定します。また、災害時における避難所機能を確保するため、引き続き小学校に防災備蓄倉庫や井戸を設置します。

また、地震対策として、簡易耐震診断や戸建住宅の建替え、防災ベッドの購入



助成に加え、簡易耐震改修や屋根根柢量化工事などへの補助を拡充し、住宅の耐震化を推進します。

消防体制の充実強化については、防災センター機能を併せ持つ消防庁舎の設備改修や耐震性防火水槽の整備などを行うほか、非常備消防体制については、第1分団詰所の改修工事、第6分団消防ポンプ自動車の更新及び第14分団詰所の移転改修に向けた実施設計を行うこととしています。また、団員の活動環境の整備と安全確保に必要な装備品の充実を図ります。

次に、交通安全対策については、高齢運転者の事故防止を図るため、運転経歴

証明書の申請費用相当額の助成により、運転免許の自主返納を促進するとともに、危険箇所や通学路を中心に、防護柵やカーブミラーなど交通安全施設の整備を進めます。

防犯対策については、LED照明による公共灯の設置を促進するとともに、子どもたちの安全確保のため、引き続きスクールガードリーダーの配置などを行います。

消費者対策としては、消費生活センターの消費生活相談員を増員配置し、相談や啓発の充実に努めるほか、消費者協会と連携し、啓発講演会の開催など消費生活向上に向けた活動を推進します。



消費生活センターの消費生活相談員を増員配置し、相談や啓発の充実に努めるほか、消費者協会と連携し、啓発講演会の開催など消費生活向上に向けた活動を推進します。

施政方針にみる 新年度の主要施策と予算のあらまし

また、生活環境の整備については、まず公共下水道整備として、有年地区等における土地区画整理地内の管渠整備や下水管理センターの機器更新などを行うほか、特定環境保全公共下水道整備として、汚水管渠整備工事などを実施します。



自然と共生するまちづくり

ごみ処理施設については、適正な整備により長寿命化を図るほか、ごみの広域処理の在り方について、相生市と連携して検討を進めます。

また、生活環境の整備については、まず公共下水道整備として、有年地区等における土地区画整理地内の管渠整備や下水管理センターの機器更新などを行うほか、特定環境保全公共下水道整備として、汚水管渠整備工事などを実施します。

また、生活環境の整備については、まず公共下水道整備として、有年地区等における土地区画整理地内の管渠整備や下水管理センターの機器更新などを行うほか、特定環境保全公共下水道整備として、汚水管渠整備工事などを実施します。

第2の柱 自然と共生する 住みよい まちづくり

自然と共生するまちの形成
私たちは、赤穂の誇る豊かな自然環境や良好な生活環境を次代に継承するため、市民、事業者、行政が一体となって、持続可能な環境づくりに取り組んでいく必要があります。そのため、大気や水質等に関する環境調査の充実を図り、積極的に情報提供や啓発活動を行います。

また、市内の産業廃棄物最終処分場建設計画については、その動向を注視し、適切に対応します。

自然と共生する住みよいまち

自然と共生するまちをつくる

①豊かな自然環境を保全する

- 環境保全型農業支援事業……[再掲64万円]
- 山地緑化事業 ……710万円
▷遊歩道保育事業(200万円)▷遊歩道整備事業(330万円)▽森林造成事業(180万円)
- 赤穂ふれあいの森整備事業 ……260万円
- 環境林整備事業 ……200万円

②さわやかな生活環境を保全する

- 環境基本計画推進事業 ……176万円
 - 公共下水道事業 ……10億5,510万円
▷汚水管渠整備ほか(野中・砂子土地区画整理地区ほか)▷雨水渠整備ほか(浜市土地区画整理地区)▷設備更新ほか(赤穂下水管理センター脱水機更新工事ほか)
 - 特定環境保全公共下水道事業 ……430万円
 - 農業集落排水事業 ……5,880万円
▷維持管理(処理場8箇所、中継ポンプ場30箇所)▷施設整備(有年檜原・東有年地区機能診断)
- 平成29年度末水洗化率見込み98.7%

平成29年度末見込み(生活排水対策事業すべてを含む)
併用面積 1,583.0ha 人口普及率 99.6%

③地球環境にやさしいまちをつくる

- 住宅用太陽エネルギー利用機器設置補助事業 ……720万円
- 資源ごみ集団回収奨励事業 ……720万円
- ごみ減量・資源化推進事業 ……86万円
- 資源ごみ持ち去り防止対策事業 ……62万円
- ★ごみ処理広域化事業 ……222万円
▷広域化計画の検討
- リサイクル運動推進事業(消費者協会補助) ……48万円
- 公共灯整備事業 ……[再掲280万円]
- 不燃物最終処分場整備事業 ……3,150万円

魅力ある都市空間を形成する

①快適な住環境をつくる

- 公営住宅環境整備事業 ……8,064万円
- 密集住宅市街地整備促進事業 ……[再掲1億2,570万円]
- 地域住宅等整備事業 ……[再掲1,060万円]
- 空き家等対策事業 ……1,320万円
▷危険空き家除却費補助ほか
- ★空家等対策計画策定経費(計画策定に係る協議会の設置)
- 上水道の整備 ……7億8,857万円
▷原水施設(北野中浄水場第1系沈澱池耐震補強ほか工事ほか)
- ▷配水施設(山手町配水管改良工事ほか)

②水とみどり豊かな都市環境をつくる

- 赤穂城跡公園整備事業 ……4,080万円
- 野中・砂子公園整備事業 ……1億9,090万円
- 都市公園整備事業 ……4,040万円

★印＝新規(拡充)事業(1万円未満四捨五入)

- 都市公園安全・安心対策事業 ……2,500万円
- 城南緑地施設整備事業 ……252万円
- ③自然・歴史・文化と調和した景観をつくる
- 快適環境推進事業 ……30万円
- 坂越景観形成地区施設改修事業 ……200万円

質の高い都市機能を整備する

- ①土地の利活用を適正に進める
- 都市計画デジタル図管理事業 ……207万円
- 都市計画基礎調査事業 ……100万円
- 土地利用計画変更事業 ……40万円
- まちづくり支援事業 ……40万円
- 地籍調査事業 ……1,123万円
- ②良好な市街地の整備を進める
- 土地区画整理事業 ……5億7,693万円
▷有年地区(区画道路築造工事ほか3億1,540万円)▷野中・砂子地区(組合補助金2億1,153万円)▷浜市地区(市助成金5,000万円)
- 坂越駅周辺地区都市再生整備事業 ……1億1,160万円
- 有年駅周辺地区都市再生整備事業 ……4億6,420万円
- 密集住宅市街地整備促進事業 ……1億2,570万円
▷尾崎地区(物件補償ほか)
- 地域住宅等整備事業 ……1,060万円
▷塩屋地区(用地取得ほか)

安全・安心に生活できるまち

★印＝新規(拡充)事業(1万円未満四捨五入)

おもいやりで満たした福祉社会を築く

- ①みんなで支え合う地域福祉を進める
- 地域総合援護システム推進事業 ……165万円
- 民間福祉活動活性化促進事業 ……374万円
- 福祉のまちづくり推進事業 ……1,200万円
- ★避難行動要支援者名簿システムの整備
▷住基と連動した要支援者名簿システムの整備
- ②子育てしやすい環境をつくる
- 子育て支援事業 ……8,934万円
▷ファミリーサポートセンター事業(180万円)▷アフタースクール子ども育成事業(4,126万円)

- ★アフタースクール整備事業(移転新設(赤穂西小)ほか640万円)▷要保護児童対策地域協議会推進事業(38万円)▷出産費助成事業(1,750万円)▷乳幼児一時預かり事業(439万円)▷幼児2人同乗用自転車購入助成事業(180万円)
- ★子育て支援情報システム事業(予防接種スケジュール等の情報提供245万円)▷第3子いきいき子育て応援事業(671万円)▷チャイルドシート購入費助成事業(150万円)
- ★こども食堂運営補助事業(開設、運営団体への補助30万円)▷中学生第3子手当支給事業(365万円)▷子育て家庭ショートステイ事業(20万円)▷絵本文庫整備事業(12万円)▷キンダースクール子ども育成事業(80万円)▷保育所子育て支援機能充実事業(9万円)
- 母親クラブ補助金 ……105万円
- 母子家庭等就業支援事業 ……530万円
- 保育所運営費(事業経費) ……4,206万円
- 保育士確保対策事業 ……14万円
- ★保育料軽減事業 ……373万円
- 出合いの広場事業 ……18万円
- 児童遊園地整備事業 ……300万円
- 子育てバリアフリー化事業 ……90万円
- 児童館整備事業 ……300万円
- 保育所整備事業 ……492万円
- ③障がい者が自立しやすい環境をつくる
- ★障がい福祉計画等策定事業 ……350万円
- 自立支援給付 ……9億5,830万円
- ▷介護給付等支給事業(9億2,200万円)▷障害者(児)補装具給付事業(1,400万円)▷自立支援医療費支給事業(2,230万円)
- 障害者(児)福祉推進事業 ……1,715万円
- ▷経済援護事業(1,456万円)▷日常生活援護事業等(258万円)
- 障害者地域生活支援事業 ……6,975万円
- ★基幹相談支援センター等機能強化事業、意思疎通支援事業、日常生活用具給付等事業、地域活動支援センター、手話奉仕員養成研修事業ほか
- 心身障害児療育事業 ……550万円
- ▷あしたば園事業(373万円)▷西播磨療育事業負担金(177万円)
- 障害者総合支援法施行事務費 ……155万円
- 障害福祉サービス事業所整備事業 ……620万円
- ④高齢者が安心して暮らせる環境をつくる
- 高齢者福祉対策事業 ……2,786万円
- ▷老人クラブ事業補助外(411万円)▷敬老祝金等支給(631万円)▷高齢者住宅改造助成(701万円)▷ねたきり老人等寝具貸与事業(25万円)▷ひとり暮らし老人等火災警報器購入助成(8万円)▷敬老長寿ふれあい事業(1,011万円)
- 介護支援事業 ……1,023万円
- ▷ヘルプサービス充実事業(295万円)▷生き

- がいデイサービス事業(460万円)▷介護サービス利用者負担軽減措置事業外(268万円)
- 在宅介護支援センター運営委託事業 ……560万円
- 高齢者を見守る支えるネットワーク推進事業 ……136万円
- 介護老人保健施設事業 ……3億1,600万円
- 介護保険事業
- 保険給付サービス ……41億9,550万円
- ▷介護サービス等(37億7,310万円)▷介護予防サービス等(1億4,400万円)▷高額介護サービス等(1億1,100万円)▷特定入所者介護サービス等(1億6,740万円)
- 地域支援事業 ……1億6,410万円
- ▷介護予防・生活支援サービス事業(7,759万円)▷一般介護予防事業(546万円)▷包括的支援事業(4,840万円)▷任意事業(2,124万円)▷在宅医療・介護連携推進事業(238万円)
- ★生活支援体制整備事業(789万円)▷認知症総合支援事業(114万円)サービス事業 ……609万円
- ⑤社会保障制度を適切に運営する
- 被保護者就労支援事業 ……278万円
- 生活困窮者自立支援事業 ……415万円
- 生活困窮者支援事業 ……32万円
- 福祉医療費等助成制度の充実 ……4億767万円
- ▷母子家庭等医療費(2,107万円)▷乳幼児等医療費(2億1,799万円)▷高校生等医療費(301万円)▷老人医療費(1,719万円)▷重度障害者医療費(6,448万円)▷高齢重度障害者医療費(7,768万円)▷小児特定疾患等医療費(204万円)▷未熟児養育医療費(421万円)
- 他公費負担医療費助成事業 ……81万円
- ⑥お互いが尊重し合えるまちをつくる
- ★人権教育・啓発基本計画策定経費 ……31万円
- 人権啓発事業 ……141万円
- 隣保館整備事業 ……65万円

保健・医療サービスを充実する

- ①生涯にわたる健康づくりを進める
- ★健康増進計画策定事業 ……406万円
- 健康づくりの推進 ……615万円
- 健康相談事業、健康管理支援事業、健康情報提供事業
- ★健康(ここに)講座事業、
- ★楽しく健康教室事業
- 予防接種費助成事業 ……770万円
- ★新型コロナウイルス感染症対策事業[再掲80万円]
- 母子保健対策の推進 ……831万円
- ▷子育て応援隊活動事業(110万円)▷育児健康支援事業(168万円)▷母子訪問指導(42万円)▷幼児健診(416万円)▷むし歯予防対策事業(95万円)
- 健康増進事業 ……9,693万円
- ▷特定保健指導(情報提供、動機づけ支援、積極的支援に区分して指導662万円)▷健康診査(生活習慣病健診、女性のがん検診ほか8,930万円)▷歯科健診(歯周病健診101万円)
- 健康診査費等助成事業 ……3,347万円
- ▷妊婦健康診査費(2,415万円)▷妊婦歯科健康診査費(53万円)▷産婦健康診査費(70万円)▷新生児聴覚検査費(107万円)▷乳児健康診査費(205万円)▷特定不妊治療費ほか(497万円)
- 健康管理システム運用経費 ……584万円
- あこう食育推進事業 ……65万円
- ★赤穂すこやかセンター整備事業 ……100万円
- ▷案内標識整備

- 国民健康保険税
▷一般会計からの繰入れにより、税率等は据え置き
- ②安心できる地域医療体制をつくる
- 休日急診診療委託 ……378万円
- 西播磨病院群輪番制運営委託事業 ……2,015万円
- 姫路救命救急センター運営費補助金 ……31万円
- 市民病院整備事業 ……12億9,328万円
- ▷第二期基本構想の推進 改築工事ほか(10億2,198万円)▷施設整備・医療機器整備ほか(2億7,130万円)

生活の安全・安心を確保する

- ①災害に強いまちをつくる
- 大規模災害対策用消防資材整備事業 ……470万円
- 西播磨広域防災備蓄物資整備事業 ……100万円
- 救援物資対策経費 ……50万円
- コミュニティ防災訓練経費 ……48万円
- 防災総合訓練経費 ……100万円
- 防災意識普及啓発事業 ……16万円
- 被災者支援システム運営経費 ……23万円
- ひょうご防災ネットシステム運営経費 ……145万円
- 気象観測システム運営経費 ……91万円
- 耐震改修促進事業 ……1,279万円
- 新型インフルエンザ感染防止対策事業 ……80万円
- ★業務継続計画策定事業 ……402万円
- ▷非常時優先業務の選定、必要資源の分析・検討ほか
- 避難行動要支援者名簿整備事業[再掲670万円]
- 河川改修事業 ……1,500万円
- 基幹水利施設ストックマネジメント事業[再掲1,500万円]
- 農村地域防災減災事業 ……[再掲1,129万円]
- 老朽ため池整備事業 ……[再掲190万円]
- 治山事業 ……735万円
- 里山防災林整備事業 ……205万円
- 津波・高潮危機管理対策事業 ……4,000万円
- ★急傾斜地崩壊対策事業 ……2,005万円
- ▷有年横尾地区、目坂地区ほか
- 防災備蓄倉庫整備事業 ……2,300万円
- 避難所等防災施設整備事業 ……222万円
- 耐震対策補強事業 ……[再掲1,000万円]
- ②消防・救急救助体制を充実する
- 消防団員安全装備品整備事業 ……170万円
- 救急業務高度化推進事業 ……630万円
- A E D整備事業 ……292万円
- 高度救命資器材整備事業 ……187万円
- 救助用装備整備事業 ……195万円
- 消防施設整備事業 ……9,985万円
- ★消防庁舎整備事業(空調改修工事)▷消防ポンプ自動車(第6分団)▷耐震性防火水槽整備事業(加里屋地区 若水公園)▷消防団詰所整備(第14分団詰所実施設計外)▷消火栓設置、小型動力ポンプ整備事業(尾崎地区)
- ★消防無線整備事業(33基)
- ③交通安全・防犯意識を高める
- 自主防犯活動推進事業 ……39万円
- 暴力団対策事業補助金 ……98万円
- 地域サポート安全対策事業 ……149万円
- ★交通安全対策推進費 ……52万円
- ▷高齢者の運転免許証返納の啓発ほか
- 交通安全施設等整備事業 ……965万円
- 公共灯整備事業 ……330万円
- ④消費生活の安全を守る
- 消費者行政活性化事業 ……528万円
- リサイクル運動推進事業 ……[再掲48万円]

施政方針にみる
新年度の主要施策と予算のあらまし



も連携してPR活動を行うとともに、観光情報システムなど多様な方法による情報発信を行います。

また、赤穂の魅力を発信する赤穂かきまつりなどのイベントに対して引き続き支援を行い、観光客の誘致に努めます。

さらに、「忠臣蔵」を題材としたNHK大河ドラマの誘致については、忠臣蔵サミット加盟自治体と協力し、引き続き署名運動や要望活動を行うことにより、実現に向けて取り組みます。

就労環境の整備については、高齢者就業機会確保事業への助成などを行い、勤労者福祉の増進に努めます。

産業と交流が盛んな活力のあるまち

★印＝新規(拡充)事業 (1万円未満四捨五入)

活力ある産業を形成する

①地域産業を振興する

- ・産業活性化支援事業 ……1,975万円
- ▷住宅リフォーム助成 150件
- ・新規学卒者雇用奨励金交付事業 ……603万円
- ▷新規学卒者の正規雇用1人あたり12万円を支給
- ・企業誘致促進事業 ……101万円
- ・工場立地促進奨励金交付事業 ……2,652万円
- ▷雇用・工場設置奨励金、オフィス等賃料補助

②商業の振興を図る

- ・商店街振興対策事業 ……119万円
- ・中心市街地にぎわいづくり事業…645万円
- ▷加里屋さんもく楽市事業ほか補助
- ▷赤穂情報物産館開設事業補助
- ▷市街地にぎわいづくり助成事業補助
- ・商業活性化対策事業 ……150万円
- ・中小企業振興事業補助金 ……325万円
- ・中小企業経営安定資金融資預託金 ……3億3,000万円
- ・中小企業経営安定資金利子補給…100万円
- ・中小企業経営安定資金融資信用保証料助成 ……450万円

★駐車場事業 ……2,358万円

③地場産品を使った赤穂の魅力を創出する

- ・地産地消推進事業 ……138万円
- ▷稲作体験農園設置事業委託ほか
- ★地場産品育成事業 ……97万円
- ・農林水産物直売所設置支援事業 ……176万円
- ▷地場産品販売施設設置事業補助ほか
- ・赤穂ブランド推進事業 ……53万円
- ★しおブランド化推進事業 ……340万円
- ▷梅塩等製造・成分分析経費ほか

④農業・漁業を活性化

- ・水田利用振興事業 ……729万円
- ・野生動物対策事業 ……1,635万円
- ・環境保全型農業支援事業 ……64万円
- ・人・農地問題対策支援事業…762万円
- ・経営体育成支援事業 ……375万円
- ・新規就農総合支援事業 ……525万円
- ・農村地域活性化推進事業 ……100万円

- ・農地現状調査事業 ……283万円
- ・農地・水保全管理事業 ……4,460万円
- ・漁業振興安定対策事業 ……576万円
- ・土地改良事業補助 ……2,520万円
- ・農業用施設整備事業 ……2,051万円
- ▷揚水機場・排水機場整備、かんがい排水改良、老朽ため池整備ほか
- ・基幹水利施設ストックマネジメント事業 ……1,500万円
- ・農村地域防災減災事業 ……1,129万円
- ★農業基盤整備促進事業 ……1,400万円
- ▷樋門改修
- ・土地改良施設維持管理適正化事業 ……350万円

⑤観光の振興を図る

- ・義士祭奉賛会補助金 ……2,450万円
- ・入湯税引当観光振興事業補助金 ……2,009万円
- ・観光アクションプログラム推進事業 ……1,587万円
- ▷観光キャンペーン事業(250万円)▷観光協会事業補助(397万円)▷観光イベント等補助(374万円)▷観光ボランティアガイド育成事業(15万円)★観光客おもてなし事業(435万円)▷広域観光推進事業(66万円)▷JR赤穂線沿線地域活性化連絡会議負担金(50万円)
- ・観光施設整備事業 ……1,170万円
- ▷観光案内看板整備ほか

⑥就労環境を充実する

- ・高齢者就業機会確保事業 ……1,206万円
- ・雇用促進セミナー等事業 ……34万円
- ・勤労者住宅資金融資預託金 ……3,000万円

多様な交流を推進する

- ①近隣市町村との広域連携を進める
 - ・定住自立圏構想推進経費 ……510万円
- ②特色ある地域間交流を進める
 - ・義士親善友好都市交流事業…191万円
 - ・文化交流事業 ……64万円
 - ▷地域間文化交流事業(山鹿市ほか)
 - ・姉妹都市交流事業 ……30万円

③国際理解を深める

- ★国際交流推進事業 ……344万円
- ▷ロッキングハム市姉妹都市締結20周年事業ほか
- ・グローバル化教育推進事業 ……2,446万円
- ▷ロッキングハム市への中学生、中学校教員の派遣・交流▷外国人講師による英語教育(小学校1名、中学校2名)▷国際理解サポーターの配置▷ロッキングハム市小学生作品交流
- ★アートマイル推進事業

④定住を促進する

- ・定住支援推進事業 ……4,920万円
- ▷転入者定住支援金▷新婚世帯家賃助成▷若者世帯住宅取得支援金▷お試し暮らし住宅事業ほか
- ・東京あこうのつどい開催経費 ……221万円

交流基盤を整備する

- ①公共交通の利便性を確保する
 - ・市内循環バス運行事業 ……1,295万円
 - ・デマンドタクシー運行事業 ……182万円
- ②利便性の高い道路網を構築する
 - ・都市計画道路変更事業 ……400万円
 - ★相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会経費 ……12万円
 - ・都市計画街路事業 ……1億470万円
 - ・生活道路整備 ……5億2,940万円

地域情報化を推進する

- ①地域情報化を推進する
 - ・高度情報化推進事業 ……8,970万円
 - ・事務改善経費 ……2,155万円
 - ・戸籍事務電算化事業 ……2,344万円
 - ・市例規集情報化推進事業 ……590万円
 - ・情報教育推進事業 ……1億1,077万円
 - ・図書館情報化システム事業 ……1,397万円
 - ・議会情報化推進事業 ……351万円
 - ・情報基盤整備事業 ……4,110万円

魅力ある都市空間の形成

住環境の整備については、引き続き尾崎地区及び塩屋地区において、防災性と住環境の向上に努めます。

公営住宅の環境整備としては、市営住宅長寿命化計画に基づき、塩屋団地の施設整備工事を継続実施します。

また、空き家対策については、空き家等に関する対策の基本となる「空き家等対策計画」を新たに策定するほか、危険空き家除却への費用補助などにより、快適な住環境づくりに取り組みます。

水道事業については、赤穂市水道ビジョンに基づき、管路の改良や配水設備の更新、北野中浄水場沈殿池等の耐震補強などに取り組み、引き続き安全で良質な水の安定供給に努めます。

都市環境の整備については、赤穂城跡公園における二之丸庭園の木橋整備や、野中・砂子公園の整備のほか、都市公園における遊具やトイレの整備などに取り組みます。

第3の柱
産業と交流が盛んな活力のあるまちづくり

商業振興については、市街地にぎわいづくり事業を継続実施するとともに、商工会議所等と連携して、赤穂産の牡蠣を使った料理の情報発信事業や赤穂グルメ食べ歩きツアー事業などへ

質の高い都市機能の整備

土地区画整理事業については、有年地区、野中・砂子地区及び浜市地区において、区画道路築造工事など事業の進捗を図ります。

また、都市再生整備事業については、JR坂越駅及びJR有年駅周辺において、道路整備とあわせ駅周辺施設の整備を進めます。



場を確保するため、緑地面積率等の緩和制度を活用した市内企業の設備投資の促進や企業の本社機能立地支援のほか、工場立地促進条例に基づく立地企業への支援の継続などにより、企業誘致を推進するとともに、新規学卒者雇用奨励金交付事業により雇用促進を図ります。また、住宅リフォーム助成を引き続き実施するなど、市内産業の活性化に努めます。

商業振興については、市街地にぎわいづくり事業を継続実施するとともに、商工会議所等と連携して、赤穂産の牡蠣を使った料理の情報発信事業や赤穂グルメ食べ歩きツアー事業などへ

の助成を行い、商業の活性化、地域のにぎわいづくりを推進します。

地場産品の活用については、稲作体験農園の設置や地場産品の販売加工施設に対する支援などにより、地産地消の推進を図ります。また、赤穂緞通を伝承する活動の支援や、塩を活用した赤穂素・流・人(ソルト)プロモーション推進事業にも引き続き取り組みます。

農業振興については、農地利用の最適化を促進しながら新規就農者や認定農業者等の担い手確保に努めるなど、人・農地プランに基づき地域農業の活性化を推進します。また、経営所得安定対策の円滑な実施にも努めます。さらに、農地や水路などの農業基盤の維持管理や農村環境の保全活動については、農地・水保全管理事業により支援します。



また、有害鳥獣対策については、猟友会との連携による鹿や猪などの野生動物の捕獲駆除のほか、鳥獣被害防護柵設置費に対する支援を行います。

漁業振興安定対策として、漁業共済掛金助成のほか、漁港の適正管理に努めます。

観光振興については、赤穂観光アクションプログラムに基づき、観光協会やJR、関係団体、近隣市町と

援などを引き続き実施します。

施設整備としては、防災減災対策としてため池などの総合整備をはじめ、施設の長寿命化を図るため木津頭首工や赤穂用水などの基幹水利施設を整備するほか、樋門整備を実施します。

森林整備については、林野火災で失った森林の機能を回復させる補植のほか、遊歩道の整備などを実施します。

**施政方針にみる
新年度の主要施策と予算のあらまし**

を用いた効果的な授業づくりの実践など、障がいの特性に応じた適切な指導を行います。

また、地域に開かれた学校園づくりとしては、学校コミュニティ推進事業、「トライやる・ウィーク」推進事業、環境体験事業や中学生地域貢献活動推進事業などを通して地域との絆を深め、地域とともにある学校園づくりを進めます。

安全・安心の確保及び若い力の健全育成としては、青少年育成推進委員や関係機関との連携を図るとともに、カウンセラーや「心の教室相談員」の配置、スクールソーシャルワーカーの派遣による教育相談活動の充実を図ります。

施設整備としては、小・中学校の大規模改造工事実施設計のほか、プール改修などにより教育環境の改善を図ります。

また、幼稚園における3歳児保育を計画的に進めるため、必要な園舎について増改築等の実施設計を行うこととしていきます。

国際理解の推進については、姉妹都市締結20周年を迎えるロッキングハム市との交流を、国際交流協会と



多様な交流の推進
広域連携については、東備西播定住自立圏形成推進協議会や播磨圏域連携中枢都市圏をはじめ、西播磨市町長会、兵庫・岡山両県境隣接市町村地域振興協議会を通じて、近隣市町村との連携を推進します。

地域間交流については、笠岡市及び山鹿市とのスポーツや文化活動などを通じて姉妹都市交流をはじめ、全国の忠臣蔵ゆかりの自治体との交流を引き続き推進します。

生涯にわたり夢を育むまち

★印＝新規(拡充)事業 (1万円未満四捨五入)

教育環境を整える

- ① 幼児・義務教育を充実する
 - ・新教育課程研究推進事業(ほか) ……149万円
 - ・教育研究所経費 ……105万円
 - ・コミュニティ・スクール推進事業 ……55万円
 - ・命を守る教育推進事業 ……30万円
 - ・キャリア教育推進事業 ……127万円
 - ・子どものちから応援事業 ……121万円
 - ・心いきいき推進事業 ……1,193万円
 - ▷不登校児童生徒防止のための総合的対応
 - ★スクールソーシャルワーク推進事業
 - ・児童生徒交流会推進事業 ……71万円
 - ・基礎学力向上推進事業 ……12万円
 - ・グローバル化教育推進事業 ……[再掲2,446万円]
 - ・コンピュータCAI研究奨励事業 ……221万円
 - ・地域サポート安全対策事業 ……[再掲149万円]
 - ★学習支援教員配置事業 ……570万円
 - ▷学習支援教員2名により実施
 - ・情報教育推進事業 ……[再掲1億1,077万円]
 - ・読書指導の振興と図書整備事業 ……502万円
 - ・幼稚園預かり保育事業 ……4,630万円
 - ・幼稚園未就園児保育事業 ……45万円
 - ・3歳児保育調査研究事業 ……28万円
 - ・放課後子ども教室推進事業 ……231万円
 - ★保育料軽減事業(幼稚園) ……101万円
 - ・学校給食モニタリング事業 ……23万円
 - ★学校給食食育推進事業 ……20万円
 - ▷食育(完食)コンテスト ▷学校給食メニュー親子料理教室ほか
 - ・防虫対策事業 ……20万円
 - ・食中毒対策事業 ……55万円
 - ・デジタルテレビ整備事業 ……785万円
 - ・大規模改造事業 ……2,050万円
 - ・坂越中学校整備事業 ……3,000万円
 - ★3歳児保育施設等整備事業 ……700万円

- ▷園舎改修等実施設計(7園)
 - ・給食センター整備事業 ……2,230万円
- ② 特別支援教育を充実する
 - ・特別支援教育推進事業 ……2,140万円
 - ・特別支援教育事業(9幼稚園) ……2,500万円
- ③ 信頼される学校園づくりを進める
 - ・教育委員会だより発行事業 ……50万円
 - ・「トライやる・ウィーク」推進事業 ……352万円
 - ・環境体験事業 ……175万円
 - ・中学生地域貢献活動推進事業 ……40万円
- ④ 若い力を健全に育成する
 - ・青少年健全育成推進事業 ……216万円

生涯学習・スポーツ活動を推進する

- ① 生涯学習を充実する
 - ・生涯学習推進専門員設置事業(1名) ……186万円
 - ・子育て学習活動推進事業 ……448万円
 - ・まちの先生活用事業 ……18万円
 - ・公民館活動の充実 ……742万円
 - ・高齢者にやさしい公民館づくり事業 ……100万円
 - ・図書館事業の普及 ……3,270万円
 - ・公民館整備事業 ……2,000万円
 - ・市民会館整備事業 ……2,840万円
- ② スポーツ活動を推進する
 - ・市民総合体育館及び城南緑地運動施設等 ……6,180万円
 - ・体育振興事業(体育協会補助金ほか) ……197万円
 - ・スポーツ先進都市推進事業 ……300万円
 - ・忠臣蔵旗少年剣道大会(第29回) ……230万円
 - ・近畿高等学校剣道選抜大会(第11回) ……100万円
 - ・赤穂義士杯青少年柔道大会(第11回) ……100万円
 - ・赤穂義士旗争奪親善ゲートボール大会(第22回) ……5万円
 - ・坂越湾ヨットレース(第8回) ……10万円

- ・赤穂シティマラソン大会開催経費(第7回) ……1,700万円
- ・赤穂市長旗争奪少年野球大会開催経費(第4回) ……25万円
- ★第72回国民体育大会剣道競技近畿ブロック大会 ……100万円
- ・体育施設整備事業 ……2,930万円
- ・野外活動センター整備事業 ……250万円
- ★耐震対策補強事業 ……1,000万円
- ▷市民総合体育館(非構造部材耐震対策工事)

個性ある地域文化を創造する

- ① 歴史・伝統文化を継承し活用する
 - ・地域文化財調査事業 ……1,040万円
 - ★地域伝統文化保存事業補助(ほか)
 - ・市史等編さん事業 ……730万円
 - ・文化財保存顕彰事業 ……20万円
 - ・文化財普及活用事業 ……196万円
 - ・文化財公開活用事業 ……442万円
 - ★地域資源PR事業 ……60万円
 - ▷赤穂コールドロンPR動画作成
 - ・赤穂城跡整備事業 ……2,420万円
 - ・赤穂城跡公園整備事業 ……[再掲4,080万円]
 - ・埋蔵文化財調査事業 ……960万円
 - ・文化財施設整備事業 ……2,400万円
 - ・民俗資料館整備事業 ……900万円
 - ・歴史博物館整備事業 ……340万円
 - ★海洋科学館整備事業 ……3,070万円
 - ▷Q&Aコーナー改修
 - ▷コールドロン3D模型設置
 - ▷塩の国かん水タンク設置ほか
 - ・田淵記念館整備事業 ……345万円
- ② 文化芸術活動を推進する
 - ・文化会館自主事業助成(文化とみどり財団補助) ……2,383万円
 - ・赤穂国際音楽祭開催事業 ……1,400万円
 - ・文化会館整備事業 ……2,682万円

生活道路の整備については、塩屋野中線や御崎加里屋線の歩道改良事業のほか

交流基盤の整備

公共交通の確保と利便性の向上については、市内循環バス「ゆらのすけ」や圏域バス「ていじゅうろう」及び有年地区におけるデマンドタクシー「うね・のり愛号」との連携運行を継続実施し、地域の実情にあった交通体系を確保します。

連携して深めるとともに、グローバル化教育の一環として、A・L・Tとも連携した国際理解教育や国際理解サポーターの派遣を継続実施するほか、アートマイル推進事業を充実するなど、人材の育成に努めます。

定住の推進については、お話し暮らし住宅で赤穂の生活を体験していただくとともに、新婚世帯への家賃助成や転入者定住支援金、若者世帯住宅取得支援金など、多様な助成を行うことにより、本市への移住・定住の促進と市内経済の活性化に努めます。

層の効率化を図るとともに

地域情報化の推進

行政事務の情報化については、本年7月から開始される国・地方を通じたマイナンバーを活用した情報連携により、行政事務の効率化を図るとともに

か、橋梁長寿命化修繕計画



に、県と共同で高度な情報セキュリティ対策を行うなど、個人情報保護対策にも万全を期してまいります。

また、小・中学校におけるデジタル教材やインターネットなどを活用した情報教育を推進し、授業の活性化や児童生徒の情報活用能力の向上を図ります。

義務教育の充実について

教育環境の整備

教育環境の整備については、教育振興基本計画(赤穂教育プラン)に基づき、「夢を育む教育」の創造をめざし、総合的・計画的に推進します。

は、研修会等を通じた教職

員の資質と指導力の向上を図り、基礎的・基本的内容を確実に定着させるなど、学力向上をめざす教育活動の充実を図ります。

また、社会体験やボランティア活動などを通じて勤労観・職業観を醸成し、将来への夢や希望を育むキャリア教育の推進に取り組みのほか、人権教育・道徳教育の充実を図ります。

特別支援教育の充実については、特別支援教育指導補助員の活用やタブレット

第4の柱

子どもたちの主体的な学習活動の充実については、学習支援教員を配置して個性に応じたきめ細やかな支援を行います。

子どもたちの主体的な学習活動の充実については、学習支援教員を配置して個性に応じたきめ細やかな支援を行います。

は、研修会等を通じた教職

員の資質と指導力の向上を図り、基礎的・基本的内容を確実に定着させるなど、学力向上をめざす教育活動の充実を図ります。

また、社会体験やボランティア活動などを通じて勤労観・職業観を醸成し、将来への夢や希望を育むキャリア教育の推進に取り組みのほか、人権教育・道徳教育の充実を図ります。

**施政方針にみる
新年度の主要施策と予算のあらまし**

地方自治体を取り巻く環境が大きく変化中、多様化・高度化し増大する市民ニーズを的確に把握し、地域の諸課題を解決していくためには、市民の皆さまをはじめ、企業や各種団体、NPO、大学等との協働によるまちづくりを推進していく必要があります。

このため、市政のあらゆる分野において、個人情報保護条例や情報公開条例の適正な運用に努めるほか、インターネットなど様々な情報媒体の有効活用を図り、情報の共有化を深める

**市民と行政が
ともに歩む
まちづくり**

第5の柱

なお、文化団体と連携しながら、ふれあいの祭典や市民文化祭、美術展などを開催するほか、児童合唱団、勤労者芸術文化振興事業などの市民活動に対しても支援を行います。

とともに、パブリックコメント制度や審議会等委員の公募など、市民参加の機会を引き続き設けます。

行政情報の提供については、広報あこうや早かごセミナーのほか、動画配信による情報提供を行うなど、より充実した広報活動を行います。また市長が直接、市政の状況や主な施策について説明するとともに、地域の課題や行政へのご意見をお聞きするまちづくり市長懇談会を引き続き実施するなど、開かれた市政を推進します。

男女共同参画社会づくりについては、赤穂市男女共同参画社会づくり条例や赤穂市男女共同参画プランに基づき、全庁的な取り組みを展開していきます。

**多様なコミュニティ
活動の活性化**

まちづくり活動の推進については、それぞれの地域の特色を活かした地区まちづくりビジョンの実現のため、各地区における自発的なまちづくり活動を支援します。

**生涯学習・スポーツ
活動の推進**

中央公民館や各地区公民館を拠点として、体系的な生涯学習の場を提供していくため、子ども教室などの各種講座を引き続き開催するほか、自らの経験や学習で得た専門的な知識、技術、技能を持った「まちの先生」に、広く活躍の場を提供することにより、多様な市民ニーズに応えていきます。



子育て学習活動推進事業については、子育て悩み相談の充実や子育てグループの育成に努めるほか、各地区公民館での子育て出前講座を継続実施します。

施設整備としては、市民会館や地区公民館における

設備更新工事や備品整備を実施するなど、生涯学習の環境整備を図ります。

図書館については、赤穂市子ども読書活動推進計画に基づき、絵本講座やブックスタート事業などの読書活動事業を実施するほか、電子書籍の充実やブック宅配サービスの実施により、読書環境の整備に努めます。

スポーツ活動の推進については、これまで整備を進めてきましたスポーツ・レクリエーション施設を最大限に活かしながら、赤穂市スポーツ推進計画に基づく事業を効率的・効果的に実施し、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる活動の場と機会の充実に努めます。

生涯スポーツの推進については、体育協会や関係スポーツ団体と連携しながら、市民総合体育祭や各種スポーツ大会の開催などを支援するほか、地域におけるスポーツ・レクリエーションの普及に努めます。

また、スポーツの振興と交流機会の拡大を図るため、忠臣蔵旗少年剣道大会や赤穂義士杯青少年柔道大会などを実施するほか、赤穂シティマラソン大会や国民体育大会剣道競技近畿ブロック大会、坂越湾ヨットレースなどの広域大会の開催を通じて、スポーツによる元気なまちづくりを推進するとともに、赤穂の魅力と活気あふれる忠臣蔵のふるさと播州赤穂を全国に発信します。



施設整備としては、市民総合体育館における非構造部材耐震化工事を2カ年計画で実施するほか、地区体育館や野外活動センターについて整備を進めます。

個性ある地域文化の創造

歴史資源の保全・整備については、文化財保存整備事業として、赤穂城跡の二之丸石垣の整備や埋蔵文化財調査などを進めるほか、文化財施設整備として、東有年・沖田遺跡公園内復元住居の屋根葺替工事などを実施します。

歴史・伝統文化の保存・活用については、図説赤穂市史の編集や赤穂史百話の発刊のほか、新たに地域の祭りなど伝統文化の調査・保存事業を実施します。また、本市の歴史資源の魅力を高めるため、引き続き「歴史文化基本構想」の策定に取り組むなど、文化財を活かした地域づくりを推進します。

海洋科学館については、引き続き東備西播定住自立圏共生ビジョンに基づく展示機器等の更新を行うとともに、赤穂コールドロンを視覚的に実感できる3D模型を新たに設置するほか、製塩作業の効率化に必要な、かん水用タンクを設



置することといたしていただきます。

芸術文化活動の拠点施設としての文化会館については、市民の皆さまの多様なニーズに応え、多くの方々にご利用される交流の場となるよう運営に努めます。

鑑賞事業としては、佐渡裕氏率いる兵庫芸術文化センター管弦楽団による公演や劇団四季ミュージカルなどを開催するほか、市民参加型事業として、吹奏楽・金管バンドの祭典や能楽ワークショップを実施します。

また、ヴァイオリンアンサンブル教室を充実するとともに、吹奏楽教室を継続するなど、芸術文化活動の振興と奨励を図ります。

健全で効率的な行政運営

本市の財政環境は、基金を取り崩さざるを得ない状況が続いていますが、健全で持続可能な行財政運営を推進していくためには、職員一人ひとりが高い倫理観のもと、危機管理能力やコスト意識、経営感覚とともに、果敢にチャレンジする行動力を身につけ、市民の

皆さまに質の高い行政サービスを提供していかねばなりません。

このため、職員の能力と業績を重視した人事評価制度の推進や研修内容の充実により、職員一人ひとりの倫理観や資質の向上を図るとともに、適材適所と適正配置に留意しながら、市民本位の行政サービスの向上と業務の適正化の両立に努

めます。

今後も、厳しい行財政環境が続くことが予測されますが、将来に向けて責任ある行政を“という初心を忘れることなく、多くの方々との対話を通じてオール赤穂市の体制をとり、皆さまと協働して市政の発展に努めていきたいと考えていますので、格段のご理解とご協力をお願いいたします。

市民と行政がともに歩むまち ★印=新規(拡充)事業(1万円未満四捨五入)

市民との協働を推進する

- ①開かれた市政を推進する
 - ・高等教育機関連携推進事業 ……20万円
- ②市民と行政の情報共有化を進める
 - ・広報の充実 ……1,058万円
 - ・情報公開・個人情報保護等推進経費 ……89万円
 - ・ホームページ運営経費 ……260万円
 - ・窓口発ふるさと赤穂PR事業 ……22万円
 - ▷婚姻記念写真ほか
- ③男女共同参画社会を築く
 - ・男女共同参画社会づくり推進事業 ……207万円

多様なコミュニティ活動を活性化

- ①多様なコミュニティ活動を活性化
 - ・まちづくり振興協会補助金 ……2,668万円
 - ・地区まちづくり支援事業 ……778万円
 - ・集会施設設置事業 ……1,732万円
 - ・コミュニティセンター等整備事業 ……45万円

健全で効率的な行財政運営を行う

- ①健全で効率的な行財政運営を行う
 - ・高度情報化推進事業 …… [再掲8,970万円]
 - ・事務改善経費 …… [再掲2,155万円]

- ・戸籍事務電算化事業 …… [再掲2,344万円]
- ・個人番号カード交付事業 ……1,044万円
- ・市例規集情報化推進事業 …… [再掲590万円]
- ・情報基盤整備事業 …… [再掲4,110万円]
- ・固定資産評価資料作成事業 ……1,855万円
- ・徴収対策事業 ……1,185万円
- ・入札事務改善経費 ……89万円
- ・行政評価推進事業 ……34万円
- ・指定管理者選定委員会開催経費 ……14万円
- ★行政改革推進事業 ……36万円
- ▷第8次行政改革推進委員会の設置
- ・ふるさとづくり寄付金推進事業 ……1,259万円
- ・総合戦略推進事業 ……22万円
- ・市議会議員選挙 ……2,830万円
- ▷平成29年4月8日 任期満了
- ★兵庫県知事選挙 ……2,280万円
- ▷平成29年7月31日 任期満了

写真で見る予算

子育て支援情報システム事業



事業費 **245万円**
一般財源 245万円

子育て支援サービスの情報提供や、感染症情報など緊急性を要する情報の配信に加え、乳幼児の予防接種通知機能等により、引き続き子育て支援情報システムの充実を図ります。

有年駅周辺地区都市再生整備事業

事業費 **4億6,420万円**
国庫支出金 1億8,520万円
市債 2億4,940万円
一般財源 2,960万円



駅周辺を中心とした居住空間向上と都市機能の充実を図るため、周辺道路築造工事などを引き続き実施し、歴史文化遺産と共生した安全・安心な都市の構築を推進します。

赤穂コールドロンPR関連事業



事業費 **685万円**
一般財源 685万円

昨年、赤穂市を中心とする一帯が後期白亜紀の火山噴火で出来た国内最大級のカルデラであることが分かり『赤穂コールドロン』と命名されました。赤穂が誇る地域資源として、広くPRを実施します。

保育料軽減事業

事業費 **474万円**
県支出金 283万円
一般財源 191万円



保育所や幼稚園等の保育料について、国の基準より低い金額を維持するとともに、第2子からの保育料を一部補助することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

道路橋梁新設改良事業



事業費 **1億9,080万円**
国庫支出金 5,720万円
市債 1億1,720万円
一般財源 1,640万円

塩屋野中線外の歩道リニューアル工事等を実施し、通学路など生活道路における市民生活の安全性・利便性の向上を図ります。

市民病院整備事業(第二期基本構想の推進)

事業費 **10億2,198万円**
国庫支出金 796万円
市債 9億3,830万円
一般財源 7,572万円



新棟の増築工事を進めるとともに、集中治療室の増床や手術室の改修など本館の改築工事に着手するほか、最新医療機器の整備を図ります。

坂越駅周辺地区都市再生整備事業



事業費 **1億1,160万円**
国庫支出金 2,170万円
市債 7,550万円
一般財源 1,440万円

JR坂越駅周辺の道路整備と合わせ、観光で来られた方々が活用できるレンタサイクル場の整備等を行い、歴史的な街並みを活かした観光振興を推進します。

市民憲章

わたくしたちの赤穂市は、播磨灘と千種川の清流にはぐくまれ、古い歴史と伝統をもつ、義士発祥のまちです。

このまちを愛するわたくしたちは、誇りと責任をもち、自然と調和のある豊かで希望にみちたふるさとづくりをめざし、ここに市民憲章を定めます。

1. 自然と歴史を大切にし、美しいまちをきずきます。
1. 教養を高め、文化の向上につとめます。
1. 健康で働き、明るい家庭をつくります。
1. 互いに助け合い、愛の輪をひろげます。
1. きまりを守り、秩序ある生活をおくります。